2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	臨床工学技士専攻科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	医療学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	北野　富美雄	実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、臨床薬剤師として服薬指導(入院患者)　薬品管理　　薬品情報提供　　新薬治験・研究　　製剤(院内薬品)　医薬品の再評価・審査などに従事			

《授業科目における学習内容》

医学概論を履修することで「 医療人としての心構え 」「 病院の機能、医療体制 」「 医療安全 感染症予防 CPR 感染性廃棄物 」「 個人情報保護 病院評価 公的医療保険 介護保険 」が理解できる。医療学概論は国家試験科目であるので国家資格取得に寄与できる。

《成績評価の方法と基準》

本試験(記述形式)70%　出席点 20%　授業態度 10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書なし　　当日資料配布
臨床工学技士国家試験過去問題

《授業外における学習方法》

前回の問題を確認してほしい。

《履修に当たっての留意点》

解らないところがあれば遠慮なく質問してほしい

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学の歴史 医療安全対策 安全管理が理解できる	配布プリント	医学の歴史 医療安全対策の復習
		各コマにおける授業予定	医学の歴史 医学の発展 医療安全対策 インシデント アクシデント 医療事故 医療過誤 医療安全対策委員会 医事紛争 について学ぶ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療法 インフォームドコンセント 医の倫理が理解できる	配布プリント	医療法 インフォームドコンセント 医の倫理の復習
		各コマにおける授業予定	医療法の規定事項 医療提供の理念 医療施設 医療計画 医の倫理 患者の権利と自己決定 インフォームドコンセント ヘルシンキ宣言 リスボン宣言 ジュネーブ宣言について学ぶ		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	危機管理3－1　感染症　院内感染 が理解できる	配布プリント	感染症 院内感染の復習
		各コマにおける授業予定	飛沫感染 空気感染 接触感染 細菌感染症 ウイルス感染症 日和見感染症 院内感染症 MRSA 耐性菌 菌交代症 について学ぶ		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	危機管理3－2 スタンダード・プリコーション 滅菌と消毒が理解できる	配布プリント	スタンダードプリコーションの復習
		各コマにおける授業予定	感染症成立条件 感染源 感染経路 感受性宿主 空気感染 接触感染 飛沫感染 消毒剤 滅菌法 エチレンオキサイドガス滅菌 高圧蒸気滅菌 乾熱滅菌 について学ぶ		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	危機管理3－3 CPR 臓器移植 感染廃棄物 が理解できる	配布プリント	CPR 医療廃棄物の復習
		各コマにおける授業予定	救急医療 災害医療 トリアージタッグ 一次救命処置 二次救命処置 CPR 心肺蘇生法 AED 臓器移植 感染性一般廃棄物 感染性産業廃棄物について学ぶ		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人情報保護　病院機能評価が理解できる	配布プリント	個人情報保護、病院機能評価の復習
		各コマにおける授業予定	病院での個人情報　厚生労働省のガイドライン　安全管理措置　個人情報の院内、院外利用　診療情報開示　安全管理　病院機能評価書面審査　訪問審査　病院機能評価の効果　医療管理　患者サービス　について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国民医療費　公的医療保険が理解できる	配布プリント	公的医療保険　国民医療費の復習
		各コマにおける授業予定	国民医療費　年齢別医療費　傷病別医療費　国民医療費の財源　医療保険　被用者保険　協会けんぽ　組合健保　共済保険　国民健康保険　後期高齢者医療制度　高齢者医療確保法　診療報酬制度　について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険が理解できる	配布プリント	介護保険の復習
		各コマにおける授業予定	介護保険法　第一号保険者　第二号保険者　施設サービス　介護認定審査会　要支援　要介護　介護給付　予防給付　地域密着型サービス　訪問サービス　通所サービス　短期入所サービス　について学ぶ		